



学校だより

2月号

第434号

教育目標：自分がすき 友だちがすき まちがすき 進んで学ぶ 山田の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

子どもたちの活躍

校長 金森孝子

今年度開始から約10ヵ月。6年生はあと7週間で卒業を迎え、1年から5年生はあと8週間で修了式です。1月は、子どもたちが10ヵ月の学びを生かして活躍する場がたくさんありました。学級、学年、代表委員会(児童会)、委員会、クラブ、登校班など、子どもたちは、日々、様々な集団の中で、人と多様な関わりをしています。小集団、あるいは集団の学びの蓄積をもとに、まとめたり課題解決したりしたことが、学校全体の取り組みとして位置づけられたり、行事の中で披露されたりしました。



1月27日は創立記念日でした。代表委員会が中心になって、学校のお誕生日を盛り上げる取り組みを計画し実施しました。一人ひとりのお祝いメッセージの作成、51周年記念ケーキ、ハッピーバースデーの歌～51周年バージョン～、51周年お祝い記念動画など、50周年の経験を生かした活動がたくさん盛り込まれていました。また、1月30日に行われた開校記念式典では、3年生の制作した動画「学校の歴史クイズ」「昔の道具クイズ」「卒業生へのインタビュー」が放送されました。国語や社会で学んだことを存分に生かし、子どもたちのよさが生かされた内容でした。自宅へ持ち帰ったiPadを活用し、卒業生のきょうだい、創立して間もない頃のご家族へのインタビュー動画も

あり、興味深く観ることができました。(ご協力ありがとうございました。)

1年生は、来年度入学してくる新1年生のために、学校紹介クイズをつくりました。どんなクイズがいいか考えたり、どのように話したら学校の様子が伝わるかを練習したりして動画を作成しました。幼稚園や保育園とは、オンラインで交流しました。懐かしい園の先生や友達を見つけて、子どもたちは本当にうれしそうでした。

その他にも、保健委員会では、「魔法の言葉」～みんなが気持ちよく笑顔で過ごせますように～、給食委員会では、「給食週間」にちなんで栄養士さんや調理員さんへのインタビュー、クラブでは、部長を中心とした紹介ビデオの作成と公開など、子どもたちの生き生きと活躍する姿が見られた1月でした。2月学校便りの中ページにも、その様子が詳しく載っています。ご覧ください。

コロナ禍では、学習スタイルも、行事のあり方も大きく変化しました。感染を防ぐための活動制限により、それまで当たり前できていた活動ができなくなった一方で、新たな媒体等によって多様な表現や工夫が生み出され、活躍の場も異なった広がりを見せました。現在、学校では、5月のコロナ5類移行を念頭におきつつ、コロナ対策緩和に向けて、生活、きまり、行事などを検討しているところです。何を戻し、何を継続し、何を変化させるのか、学校のあり方も問われています。学年末には、整理して、お伝えいたしますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。



#####

【まちとともに歩む学校づくり懇話会】1月27日(金)に、今年度2回目の「学校づくり懇話会」を開催しました。地域、PTAの皆様にご来校いただき、学校評価の分析結果や学校行事の様子などを提示しながら今年度の教育活動の振り返りを報告しました。参加者の皆様からは、「防犯・防災に関する意識付けを大切にしてほしい。」「タブレットの効果的な扱いを今後も継続してほしい。」「児童の自己肯定感が昨年と比べて伸びていてとても嬉しい。」「低学年で行っている少人数指導はとても有効的である。」「安心できないと回答している子どもの存在を重く受け止めてほしい。」など、様々なご意見をいただきました。次年度の教育活動に活かしていきたいと思っております。



(副校長 間杉 誠)